

## 平成25年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	普及	題名	多収、高品質大豆「シュウリュウ」の栽培法	
[要約] 「シュウリュウ」は、県中南部では標播とすることにより、「リュウホウ」および「ナンブシロメ」より多収となる。栽植密度は1万～1.5万本/10a(畦間70cm程度×株間10～15cm)とする。また、小畦立て播種栽培および追肥培土栽培を行うことにより、それぞれ10%程度の収量増が期待できる。				
キーワード	大豆	シュウリュウ	栽培法	○技術部 作物研究室 県北農業研究所 作物研究室

## 1 背景とねらい

大豆新品種「シュウリュウ」は、平成25年度に岩手県の奨励品種に編入される予定であり、多収、高品質、豆腐加工適性に優れた品種である。そこで、本品種の優れた特性を生かすための栽培基準を示すものである。

## 2 成果の内容

## (1) 地帯別播種適期及び栽植密度

地帯		播種適期(月/日)	栽植密度(本/10a)	播種量(kg/10a)
県南部	標播	6/1 - 6/15	10,000-15,000	3.5-5.3
	晩播	6/16 - 6/20	15,000	5.3
県中部	標播	5/15 - 6/5	10,000-15,000	3.5-5.3
県北部	標播	5/20 - 5/31	15,000	5.3

ア 県南部の播種時期は、収量確保および倒伏を防ぐためには標播とする。栽植密度を1万～1.5万本/10a(畦間70cm程度×株間10～15cm)とすることにより、「リュウホウ」より10%程度の収量増となる。晩播では、1.5万本/10a(畦間70cm程度×株間10cm)のやや密植とすることにより、標播の子実重と比較してやや減収するものの、裂皮粒およびしわ粒の発生を抑制することができる(表1)。

イ 県中部の栽植密度は、1万～1.5万本/10a(畦間70cm程度×株間10～15cm)とすることにより「ナンブシロメ」より20%程度の収量増となる(表2)。

ウ 県北部では、栽植密度を1.5万本/10a(畦間70cm程度×株間10cm)とすることにより、収量は「ナンブシロメ」よりも少ないが、倒伏を防ぎ、外観品質は「ナンブシロメ」より優れ、良質な大豆生産が期待できる(表3)。

エ 転換畑では、小畦立て播種栽培および追肥培土栽培を導入することにより、それぞれ10%程度の収量増が期待できる(図1、図2)。

## 3 成果活用上の留意事項

- (1) 施肥は、窒素施肥量2～4kgを基準量とし、肥沃地では少なめとすること。
- (2) 病虫害防除等の栽培管理は「リュウホウ」の体系に準じて行う。
- (3) ダイズシストセンチュウ抵抗性が弱であるため、連作やダイズシストセンチュウ被害の発生した圃場での栽培は避けること。
- (4) 除草剤ベンタゾン液剤に対して薬害および減収が発生する場合がある。散布する場合はH25年度研究成果「除草剤ベンタゾン液剤に対する大豆「シュウリュウ」の反応特性および薬害を軽減する散布方法」を参照すること。
- (5) 県中南部で狭畦密植栽培を行う場合は、6月下旬～7月上旬に播種する。7月上旬の播種では、6月下旬播種と比較して収量および百粒重が低下する(参考表4)。

## 4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等 県下全域(標高300m以下)、普及見込み面積1,000ha(H30)  
大豆生産者および農業改良普及センター等指導機関
- (2) 期待する活用効果 大豆の生産力及び品質の向上による安定生産・供給及び需要確保

## 5 当該事項に係る試験研究課題

(H19-12) 大豆の奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査 [H19～25、県単]

## 6 研究担当者

伊藤信二、中西商量

## 7 参考資料・文献

大豆品種「リュウホウ」の栽培法(平成17年度試験研究成果)

## 8 試験結果の概要

表1 各播種期における生育および収量（農業研究センター：北上、畑地）、平成23-25年

播種期 (月・日)	品種	株間 (cm)	開花期 (月・日)	成熟期 (月・日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本)	稔実莢数 (莢/㎡)	1莢内粒数 (個/莢)	子実重 (kg/10a)	百粒重 (g)	倒伏 (%)	裂皮粒 (%)	しわ粒 (%)
早播 5.25	シュウリュウ	15	7.24	10.1	57	15.5	4.4	612	1.86	292	111	31.4	3	2
	リュウホウ	15	7.23	9.31	61	15.2	5.2	533	1.95	264	(100)	34.2	3	13
標播 6.05	シュウリュウ	10	7.29	10.7	52	14.9	3.0	603	1.87	323	115	33.0	1	2
		15	7.29	10.8	45	15.0	4.9	599	1.87	326	113	34.7	1	6
	リュウホウ	10	7.26	10.5	49	13.2	3.2	623	1.97	281	(100)	32.9	3	18
晩播 6.20	シュウリュウ	15	7.26	10.2	47	14.9	4.7	588	1.98	289	(100)	31.8	3	18
		10	8.08	10.13	47	13.7	3.5	569	1.88	291	113	34.3	1	1
	リュウホウ	15	8.08	10.14	43	14.1	4.7	545	1.80	276	103	33.6	1	1
	リュウホウ	10	8.07	10.12	45	12.9	3.9	519	1.88	258	(100)	29.3	2	6
		15	8.07	10.13	41	13.2	4.9	540	1.90	265	(100)	32.0	2	12

※畦間70cm・1株1本立てで試験を実施。倒伏程度(0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚)

※子実重の比は、同播種期、同株間におけるリュウホウとの収量比。

表2 現地の標準播種期における生育および収量（盛岡市、転換畑、平成23-25年）

播種日	品種	株間 (cm)	成熟期 (月・日)	主茎長 (cm)	稔実莢数 (莢/㎡)	1莢内粒数 (個/莢)	子実重 (kg/10a)	百粒重 (g)	倒伏 (%)	裂皮粒 (%)	しわ粒 (%)	等級	
5.28	シュウリュウ	10	10.16	65	568	1.81	322	124	34.2	3	2	6	1上
		15	10.16	60	553	1.83	336	129	34.9	2	2	7	1上
	ナンブシロメ	15	10.20	64	549	2.40	260	(100)	25.0	3	6	15	2中

※畦間70cm、1株1本立てで試験実施。

※倒伏程度(0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚)

表3 県北の標準播種期における生育および収量[県北農業研究所（軽米、畑地）、平成23-25年]

播種日 (月・日)	品種	株間 (cm)	成熟期 (月・日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本)	稔実莢数 (莢/㎡)	1莢内粒数 (個/莢)	子実重 (kg/10a)	百粒重 (g)	倒伏 (%)	等級	
5.25	シュウリュウ	10	10.18	85	19.4	4.8	627	1.70	327	89	33.3	1	1中
	ナンブシロメ	10	10.19	105	19.1	6.1	725	2.30	368	(100)	25.4	3	2中

※畦間70cm・1株1本立てで試験を実施。倒伏程度(0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚)

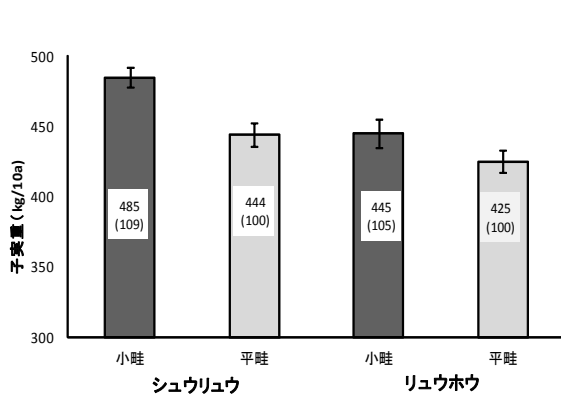


図1 小畦立て播種による子実重

- ・農研センター（北上）転換畑、H24-25
- ・播種日 H24: 6/12、H25: 6/12
- ・括弧内の数字は、各品種平畦播種対比

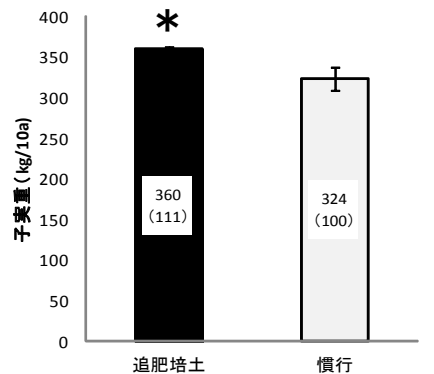


図2 開花期追肥培土試験

- ・農研センター（北上）転換畑、H25
- ・播種日: 6/12、開花期: 7/30
- ・括弧内の数字は、慣行栽培対比
- ・\*は危険率5%で有意差あり (t検定)

耕種概要  
・開花10日前及び2日前に、それぞれ硫酸（窒素成分で2kg/10a、3kg/10a）を施用し、追肥直後に培土した。

参考表4 狭畦密植栽培における生育特性および収量[農業研究センター（北上、畑地）平成23-24年]

播種日 (月・日)	品種	開花期 (月・日)	成熟期 (月・日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本)	子実重 (kg/10a)	百粒重 (g)	倒伏 (%)	裂皮粒 (%)	しわ粒 (%)	等級	
6.20	シュウリュウ	8.08	10.06	57	13.1	1.5	266	101	29.9	1	4	1	1中
	リュウホウ	8.07	10.04	57	13.4	1.9	264	(100)	28.2	3	0	3	1中
	ナンブシロメ	8.02	10.06	64	14.0	1.7	241	91	21.8	2	2	5	2上
7.5	シュウリュウ	8.20	10.16	47	12.8	0.8	233	102	27.5	0	0	0	1中
	リュウホウ	8.18	10.16	46	13.1	1.2	228	(100)	27.8	2	0	6	1中
	ナンブシロメ	8.16	10.16	44	11.4	1.4	238	104	23.8	2	2	12	2下

※畦間30cm、株間10cm、1株1本仕立てで試験実施(3333本/a)。倒伏程度(0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚)

※子実重の比は、各播種期におけるリュウホウの子実重との比を示す。